

第2次大阪府健康増進計画 目標設定の検討

【目標設定の考え方】

- 1 第2次大阪府健康増進計画の最終目標値（平成29年度）は平成24年度に設定。
- 2 次の2点により目標値を設定
 - 前計画での目標値を引き継いだもの
 - 「健康日本21（第2次）の推進に関する参考資料」を参考として目標値を設定したもの。

【現時点での問題点】

- 1 大阪府の現状と比べて目標設定が高く、到達が困難な目標があること
- 2 対象によって、設定を変更する方が望ましいと思われる目標があること
例）特定健診受診率、特定保健指導実施率
→保険者によって国の目標も異なっている。
日常生活における歩数（20歳以上）
→年齢によって国の目標も異なっている。高齢者では達成困難なことを考慮すべき。

【地域職域連携推進協議会において】

事務局から

- 1 到達困難な目標値については、大阪府の現状に合わせた目標値の検討。
- 2 年代ごとの目標設定の検討
- 3 国民健康・栄養調査結果を目標値としている場合、母数が少ないため数の変動が大きい。特定健診のデータについて、参考値として併記することを考えている。

上記について、目標値についての見直しの可否も含めて御意見をいただいた。

<委員からの御意見>

- 1 法定計画として定めた目標について、簡単に変えるべきではないのではないか。
- 2 目標を下げることは、目標設定の際にどの程度、実行可能性も含めて検討されたのかということが問われる。下げるための理由付けをどうするのか。
- 3 ハードルを下げることにより、どの程度健康状態の改善が図れるという

見積もりがだせるのか。

- 4 設定している目標値はそのまま、追加、補足するような目標値を設定してはどうか。
- 5 行政計画として目標を設定しているので、達成できないから変えてしまうと重みがなくなる。どういう層に課題があるのか、保険者ごとにどうなのか、ということも踏まえて検討し、追加目標を設定してはどうか。
- 6 大阪府では、社会的に問題のある層があるので、そのあたりも含めて、PDCA サイクルで事業を展開できるような目標を追加するというような考えですすめてはどうか。

—まとめ—

- 1 計画の目標値については変更すべきでない。
- 2 目標値はそのまま、追加、補足する目標設定をしてはどうか。
- 3 保険者ごと等、対象の層別に目標を設定するような考えですすめてはどうか。

【事務局からの提案】

- 1 一次目標項目の設定
 - (1) 最終目標値は変更しない。
 - (2) 一次目標項目を設定し、最終目標項目と併記する。
 - <メリット>
 - ◇ 対象ごとの実態が把握できるとともに、目標が明確になる。
 - ◇ 対策や連携強化につながり、府としての支援、単年度計画への反映につながる。
 - ◇ 進捗状況の把握が容易になる。
- 2 一次目標項目を設定するにあたって
 - (1) 一次目標を設定すべき項目の検討
 - (2) 各項目について、使う指標、目標値の検討

本日は、提案事項について御意見をいただきたい。

また、提案した方向で検討をしていただけるということであれば、

「2 一次目標項目を設定するにあたって」について御検討いただきたい。